

NPO 法人

もりおか認知症サポーターズもりもり会

平成28年度（第4期）事業計画書

第4期 通常総会

2016年5月8日（日）

NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会

▽設立趣旨書

1 趣 旨

認知症高齢者の増加に伴い、認知症の人とその家族が、慣れ親しんだ地域での暮らしを支援するため、多くの人に認知症を正しく理解してもらい、誤解や偏見を無くし認知症で悩む人や孤独に介護を頑張る人を減らします。

また、認知症の人とその家族を支える人材を育て、認知症の支援のネットワークを築きます。

2 申請に至るまでの経過

認知症は誰しもがなりうる病気です。地域社会で認知症の方が生活していくには、医療や介護だけで支えていくには限界があり、誰しもが、住み慣れた地域社会で生活していくためには、さまざまな社会資源を活用し、生み出していく必要があります。

認知症講演会や認知症劇による啓蒙活動、認知症の人や家族とのレクリエーション等、さまざまな活動を通して認知症になっても安心して暮らせる地域社会を目指していきます。

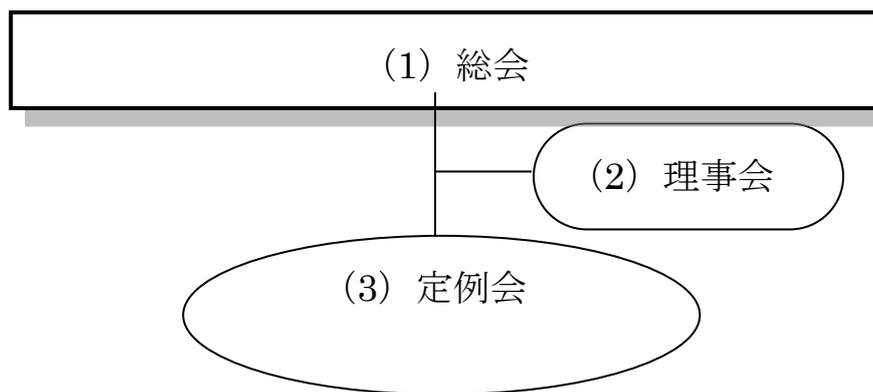
平成 25 年 3 月 2 2 日

NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会

▽組織体制 2016年度(第4期)

I 組織概要

(1) 総会	正会員によって構成されます。年1度、組織の事業計画を吟味し、決議します。
(2) 理事会	総会によって選任された役員(理事)によって構成されます。活動上必要な意思決定の議題の取りまとめを定例会に提出します。
(3) 定例会	正会員によって構成されます。理事会により提出された議題の取りまとめを吟味し、民主的な意思決定をし、それを実行していきます。



II 会員制度

会員項目	役割	年会費	
正会員	団体理念に賛同し、運営に参画する会員です。個人、団体 総会での議決権を持ちます。理事会を構成するメンバーも正会員より選出されます。	年間	6,000円
賛助会員	この法人の事業を賛助する個人及び団体です。 組織を資金面でサポートする会員です。 総会での議決権はありません	年間	10,000円 (一律)
(監事)	理事の業務状況の監査及び組織財産の監査をします。		

Ⅲ 組織詳細

理事メンバー

代表	工藤 正司	社会福祉士 介護支援専門員
理事	佐藤 美佳子	看護師
理事	長根 さゆり	介護支援専門員
理事	及川 幸紀	医療事務
理事	松浦 夏美	作業療法士
理事	矢羽々 久美子	介護支援専門員

監事

監事	高田 恭平	医療事務
----	-------	------

2. 任期

役員の任期は、第 16 条第 1 項の規定による。但し、再任は妨げません。

▽事業計画 平成28年度(第4期)

平成28年度【2016年4月1日～2017年3月31日】

I 第4期の方針

【事業の重点項目】

～認知症の人とその家族が、慣れ親しんだ地域での暮らしを支援するために～

- ① 各事業において、今後も事業の継続を行っていく。そのため会員一人一人が主体性と責任を持って活動に取り組む。(第2期より継続)
- ② 地域、他団体との関係作りを行い、いろいろな人とのつながりを大事に活動を展開する。(第2期より継続)

【組織運営の重点項目】

- ① 安定した資金確保(助成金、会費徴収方法の検討)
- ② 事務局機能の構築(個人ではなく、組織としての活動)
- ③ 会員状況の把握と、活動内容の見える化

II 各事業について

(1) 啓発活動事業

(2) 相談援助事業

(3) 人材育成事業

(4) レクリエーション事業

(1)各事業の内容

①平成28年度 認知症啓蒙活動事業計画

自治体、地域住民、民間企業、公共機関等からの依頼に応じて、講演及び寸劇を通じた理解を深め、地域で支えていくための活動を実施していく。

現状の活動については無理なく継続していく

寸劇の活動の回数にノルマがない事で 27 年度はある程度ゆとりを持って活動することが出来ました。

28 年度においても年間での回数のノルマではなく依頼があった際に検討する対応で臨み、無理なく活動を続けていきたいと思えます。

一方で昨年度はもりもり会が企画して行う啓蒙活動はありませんでしたが、メンバーからその都度意見があれば可能な限り検討し企画はしていきたいと考えています。

啓蒙活動について幅を広げよう！

① 対象者の幅を広げる

地域住民はもちろん、若者、介護家族、企業等、対象者を広げて考えてみる。

② 内容の幅を広げる

27 年度までの講演、寸劇の内容としてのキーワードとして「地域で支える」、「いろいろなタイプの認知症を知る」がありました。キーワードとして何を伝えたいかを変えてみる事、絞ってみる事で内容にも幅が広がると思います。「徘徊の対応、声掛けの仕方について…」「ちょっとの思いやりをたくさん集めよう」等。

③ 発信の幅を広げる

講演・寸劇はもちろんですが動画配信、ブログでの配信等の発信方法を新たに取り入れる事でより多くの方に啓蒙活動が届くと思います。また寸劇や講演だけにとらわれずにそれ以外での啓蒙方法も検討していきたいです。

平成28年度 MAP づくりについて

再度メンバー内でどのような方々と協力体制をもてれば役立つ MAP になるのかを検討していく必要がある。

・メンバー内でのグループワーク等を重ねて MAP のイメージを形にしていく作業から再度スタートしたい。

・完成させることを短期目標とせず、この活動を通して協力できる仲間をみつけたり認知症の方とその家族の地域での生活についてみんなで考える活動にしたい。

平成28年度事業予定

○寸劇・講演 未定

平成28年度予算

大道具修理代 諸経費 10,000 円

合計

10,000 円

②平成28年度 相談援助事業（「思いやりカフェ」）事業計画

もりもり会メンバーみんなで知識や理解を高めて共有していこう。

・桜城地区でのカフェ定期開催を主軸としながら、浅岸地区でのカフェ開催を視野に、地域包括支援センター、関係機関、町内会、子供会等との連携について検討していく。また、もりおか認知症カフェ連絡協議会への参加により、各地域での取り組み状況等について情報交換を行っていく。

盛岡での認知症カフェの現状

現在、盛岡では「思いやりカフェ」の他3つの認知症カフェを確認している。そして盛岡の認知症カフェが集まり意見交換を行う場としてももりおか認知症カフェ連絡協議会が28年3月に発足し、当会もそれに参加している。

- ・カフェド小山（地域主体 コミュニティーカフェ）
- ・オハナカフェ（社会福祉法人主体）
- ・カフェ～結～（医療法人主体）

盛岡市として認知症カフェは必要な社会資源でもあり各地域（中学校区圏域）での認知症ケアパスの作成にあたっては社会資源として組み込む方向。また今後は広報等のバックアップをしていきたいとの意見を頂いている。

（参考 一考察として）

「思いやりカフェ」が目指すべき姿を考えよう。予防の観点で二つに分けて考える。

○「一次予防」としてのコミュニティーカフェ（地域住民の居場所）としての健康維持、認知症予防、認知症啓発を目的としたカフェ

○「二次予防」として認知症の人、介護家族の生活へのアドバイス、居場所、やりがい創りを目的としたカフェ

地域の強みについて考える

○桜城地区においては他の地域より「ふれあいサロン等」の民生委員さんのバックアップとしてシルバーメイト活動ができている地域である点。

○サロンの数が盛岡市の中で一番多い点（平成26年度で15か所）

○高齢化率が低い点（平成26年度で20.7% 盛岡市平均25.1%）

○交通の便として良い場所である点

もりもり会の強みについて考える

○介護・医療の専門職が多い点。

○インターネット等の情報、広報について強い点。

○カフェ以外の事業を行っている点（寸劇、講演、RUN伴等）

桜城地区においては一次予防という点においては地域での取り組みは他の地域よりも圧倒的にできている。そのためあえてその点については必要時にサロン等にお邪魔してお手伝いをする等の支援で良いかと思われる。

むしろ二次予防という点での活動に重きを置いた活動で行っていく事が地域やもりもり会の強みを生かして相乗効果が大きいと考えられる。

また地域への周知という点で盛岡市西口地域包括支援センター、盛岡市社会福祉協議会とも協力して行っていく。

現在、浅岸でのカフェを打診されているがその点（地域の強み）を考慮してカフェを検討していく必要がある。

平成 28 年度予定

- 桜城地区 思いやりカフェ 毎月 1 回（第 3 日曜日 or 第 4 日曜日）
- 浅岸和敬荘内 認知症カフェ（仮） 現在準備検討中 未定

平成 28 年度予算

カフェ お茶菓子代（年間）	10,000 円
諸経費（アクティビティ代）	5,000 円
印刷代	2,000 円
合計	17,000 円

③平成28年度 人材育成事業計画

地域の問題を身近な問題として捉える事ができる人を増やしていく

そのため他事業との関連も踏まえて、会員を含む広く多くの方より意見を頂きながら要望があれば勉強会・セミナー等を理事会、定例会等で検討しながら、必要時助成金等も活用して実施していく。

また活動内容に見合ったマンパワーの確保と共に、活動内容が会員一人の負担とならないよう行っていく。

平成28年度予算

印刷代・通信費	10,000円
---------	---------

④平成28年度 レクリエーション事業

昨年同様、盛岡区間に行われる RUN-TOMORROW 2016 への参加協力を計画しています。(9月3日 八戸～盛岡 / 9月4日 盛岡～一関)

今期も盛岡～一関区間のゴール、スタート地点の設定や各区間のコーディネートを行い多くの方が参加できるように区間調整を行っていきます。また前日の八戸～盛岡区間においても県北や盛岡近郊の人たち、多団体にも声掛けを行いたくさんの繋がりを作っていきたいと考えています。

盛岡～一関区間の昨年は130人を超える参加者、応援者の協力をいただきました。200名の参加を目標に盛り上げていきたいと思えます。そのためにより多くのメンバーに準備の段階から協力を頂き、宣伝・PR活動を行っていきます。

また今年は南に距離を伸ばしていく事(一関から南へ10kmの有壁)も検討していき南東北の方とのつながりも創ってきます。

平成28年度予算

もりもり会メンバー参加助成	1000円×15人	15,000円
---------------	-----------	---------

交通費		25,000円
-----	--	---------

合計		40,000円
----	--	---------

(2) 平成28年度 計画及び予算

28年度の事業計画書

平成28年4月1日 から 平成29年3月31日まで

NPO 法人もりおか認知症サポーターズもりもり会

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象 者の 範囲及 び 人数	事業費 の金額 (円)
啓発活動	① 認知症講演	未定	盛岡市	未定		
相談業務	② 安心マップ作り 思いやりカフェ	毎月第3 ないし第 4日曜日	盛岡市 桜城町福祉セ ンター	毎月4名	毎月10名	10,000
人材育成	認知症カフェ(仮) 人材育成セミナー	未定	浅岸和敬荘内	未定		17,000 10,000
リクリエーション	RUN 伴	未定		15名		40,000

平成28年度 活動計画予算書

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日まで
 NPO法人もりおか認知症サポーターズもりもり会
 (単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	102,000		
賛助会員受取会費	0		
		102,000	
2. 受取助成金等	0		
3. 事業収益	0		
4. その他収益	0		
経常収益計			102,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) < 認知症啓発活動事業 >			
大道具製作費	8,000		
印刷費	2,000		
		10,000	
(2) < 認知症カフェ >			
会場費			
レクリエーション作業活動代	5,000		
茶菓子代	10,000		
印刷費	2,000		
		17,000	
(3) < 人材育成事業 >			
会場費	0		
印刷代	10,000		
		10,000	
(4) < レクリエーション事業 >			
交通費	25,000		
参加費会員助成	15,000		
		40,000	
2. 管理費			
通信管理費 (インターネット等)	20,000		
事務諸経費	5,000		
経常費用計			102,000
当期経常増減額			0
前期繰越正味財産額			91,288
当期正味財産増減額			0
次期繰越正味財産額			91,288

参考①

28年度 やりたい事とか要望等

映画「徘徊ママりん 87歳の夏」を上映したい

徘徊の問題を通じていろいろな立場の人を交えて、安心して暮らしていける地域づくりについて考えていきたい。

「おもいやり時計」

当方の啓蒙啓発の中でのキーワードの一つである「たくさんのちょっとした思いやり」を集める事が安心して暮らせる地域づくりにつながるとの思いより

実際に「ちょっとした思いやり」を認知症の人もそうでない人も「私にできるちょっとした思いやり」のコメントをいただきながらブラックボードに時間（1分刻み）を書いたものを持った写真を集めて（1440枚）それを美人時計ならぬ「思いやり時計」として公開する。

「民三を何とかしよう！」

寸劇での民三とカコさんが実際に地域で暮らしていくために発症～診断～介護サービスの利用等

仮想の中で、いろいろな立場・職域の人に実際に相談してインタビューしてそれをホームページ等で配信する。

地域包括ケアシステムは概念やマクロ的な考えについては多くの研修会や勉強会でわかるが、実際に認知症になったらどうしたら良いのか？ 認知症の介護について実際にどうしたら良いのか？どこに相談したら良いのか？という点での「身近な一人の人どうしたら良いのか」を考えてみたい。

参考②

ホームページ、ブログについて

もりもり会のホームページについて <http://www.morioka-dementia.com/>

今までは工藤克行がホームページ管理していました

現在、理事の及川幸紀にも管理方法を伝えホームページを更新できる環境に整えました。

今後、ホームページの簡単な案内、掲示に関しては及川幸紀で作業を進めていきたいと思
います。

やっかいなホームページのフォーマットの変更、プログラムの追加等に関しては工藤克行
が行っていきます（そこまで詳しく知識はありませんが）当面は及川幸紀をサポートしな
がら使い方を慣れてもらいます。

もりもり会ブログについて <http://ameblo.jp/moriokaninchishou/>

年明けよりアメンバーブログにてもりもり会の活動等について運用を始めています。

ブログに関して

- ①特段制限なく**メンバー誰でも**自身の体験や伝えたい事を書き込んでいただいて良いです。
- ②このように書くべきとか、もりもり会としての発言という事は一切考えなくて良いです。
- ③一応誰が書いたか【記 ニックネーム等】の記載はあっても良いかもしれませんが、そ
こも書く人の判断にお任せいたします。

ホームページにブログリンクしてありますのでそちらから入っていただき

ユーザー名

パスワード

でログインできます。あとはページの説明に従って書いていただければ大丈夫です。

もちろん何か分からない際には工藤克行に連絡いただければと思います。